**令和７年度先端技術を活用した社会課題解決促進事業**

**【申請書】**

**○申請書受付期間**

令和７年４月１６日（水）～６月１３日（金）必着

**○申請書の提出について**

下記事業ホームページ内の申請フォームにこちらのファイルをご添付ください。

<https://tsi-tech-award.metro.tokyo.lg.jp>

**○申請書記入上の注意**

　・募集要項P８「審査基準」を踏まえてご作成ください。

　・募集要項P１０「申請方法（詳細）」をよくお読みください。

・ページや行が不足する場合は追加してください。**全体で１８ページまでとしてください。**

**○お問い合わせ先**

◆先端技術を活用した社会課題解決促進事業　事務局

住　所　〒100-0005 東京都千代田区丸の内３丁目２−３ 丸の内二重橋ビルディング

電話番号：03-6633-3553　　　　メールアドレス：info@tsi-tech-award.jp

東京都知事殿

「先端技術を活用した社会課題解決促進事業 令和７年度募集要項」に記載する全ての事項を遵守することを承諾して、下記のとおり申請します。

|  |  |
| --- | --- |
| （ふりがな）企業名 | ※個人事業主の場合は記入不要。（代表者名欄へ氏名をご記入の上、押印ください。 |
| （ふりがな）代表者名 | 印　（代表者印） |

# **１．申請ソリューション等について**

**１-１. 基本情報**

|  |
| --- |
| **基本情報** |
| フリガナ |  |
| ソリューション等名 | 外部公開時に記載されます。 |
|  |
| ソリューション等の概要（１００字以内） |  |
| 申請ソリューション等を掲載したサイト等があればそのURL |  |
| 申請ソリューション等紹介動画を公開している場合はそのURL |  |
| 販売・提供開始年月日（和暦）（未販売・未提供の場合は予定日） |  | 年 |  | 月 |  | 日 |
| 販売・提供価格（単価）（未販売・未提供の場合は予定価格） |  | 円 |  |
| 売上実績はありますか？ | [ ]  | ある　 | [ ]  | ない | ※「ない」場合、いつ頃から販売・提供予定ですか（　　年　　月） |
| 売上実績・販売方法等 | 売上高【単位：千円】 |  | 販売・提供（予定）方法を教えてください。 |
| （主に活用するストア等名称も併せて記載） |
| 提供数 |  | ユーザー層・ターゲット層を教えて下さい。 |
|  |
| 申請ソリューション等について、申請時点で、他のコンテストやコンペティション等に併願していますか？ | [ ]  | はい ⇒ | （併願しているコンテスト等名を選択）[ ] 　東京都ベンチャー技術大賞[ ] 　その他（具体的なコンテストを以下にご記載） |
| [ ] 　　いいえ |

**１－２. 過去の受賞歴及び改良点**

1. 申請ソリューション等について、他のコンテストやコンペティション等にて過去に受賞歴があるか否かを、下表に✅を記載してください。

|  |
| --- |
| **過去の受賞歴** |
| [ ] 　ある | [ ] 　ない |

1. （上記（１）で「ある」を選択した方のみ、お答えください。）

過去に受賞したコンテスト等の名称及び受賞時期について教えてください。

**＜記載例＞**

**＜記載例＞**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **受賞年度** | **コンテスト等名称** | **コンテスト等の主催** |
| 令和３年度 | 東京都ベンチャー技術大賞 | 東京都 |
| 令和４年度 | Tokyo Contents Solution Business Award | 東京都 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

1. （上記（２）で、本事業、「Tokyo Contents/Solution Business Award」及び東京都ベンチャー技術大賞（「世界発信コンペティション」を含む。）の受賞歴があると回答した方のみお答えください。）

　　今回申請したソリューション等について、過去の受賞時からの改良点を説明してください。

**２. 製品概要**

（１）申請ソリューション等の**概要、特徴、セールスポイント、ビジネスモデル**などを分かりやすく記入してください。

（２）申請ソリューション等のこれまでの沿革（経歴）と、現在の状況を教えてください。

（販売・提供を開始されている場合は普及状況等について、未販売・未提供の場合は、制作状況や

今後の販売・提供に向けたスケジュール等について記載ください。）

３．市場性

（１）申請ソリューション等について、機能・性能・価格や、対象とする顧客のニーズ・外部環境など売上を左右する要因から、**市場性が高い**ことをご説明ください。

また、具体的な販売先からの反響（お客様の声等）があれば記載してください。

（２）申請ソリューション等の安全性、安定度、信頼性、環境への配慮、生産・提供体制等についてご記入ください。なお、第三者機関による試験例などの検査結果があれば添付してください。

４．申請ソリューション等の今後のビジネス展開

（１）今後、申請ソリューション等の改良や国内外での事業拡大の予定があれば、雇用の拡大、波及効果を含めて記入してください。

（２）将来的なビジネスビジョンや成長戦略、他組織（他企業、団体、大学等）との連携の実施状況について記入してください。

**５. ソリューション等の技術分野**

|  |
| --- |
| **◆技術分野** |
| 1. 以下の技術分野において、申請ソリューション等が、最も該当するもの１つにチェック☑をして

下さい。[ ] 　　（１）ＡＩ　　　　　　　　　　　　　　[ ] 　　（２）ＸＲ／メタバース[ ] 　　（３）Ｗｅｂ３／ブロックチェーン　　　[ ] 　　（４）ＩоＴ／ロボティクス[ ] 　　（５）量子コンピューティング　　　　　[ ] 　　（６）サイバーセキュリティ[ ] 　　（７）クラウドコンピューティング　　　[ ] 　　（８）その他技術カレンダー  AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。（２）申請ソリューション等がどのような**先進的技術**を有しているかを記載してください。 |

６．新規性・創造性・優位性

**類似ソリューションや競合ソリューション等と比較しながら差別化要素を挙げ、**申請ソリューション等がどのような新規性・創造性・優位性があるかを説明してください。

７．考案（制作）の経緯、提供の目的、意義

企業として制作に至った**経緯、考案のきっかけ**、**提供の目的**や**提供による意義**、ソリューション等名の由来などを記入してください。

８．社会課題の解決

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請ソリューション等が解決する社会課題分野（該当するものに **✔　複数選択可**） | [ ]  | 防災・減災・災害対策 | [ ]  | インフラメンテナンス |
| [ ]  | 安全・安心確保 | [ ]  | スポーツ振興・障がい者スポーツ |
| [ ]  | 子育て・高齢者・障害者等 | [ ]  | 医療・健康 |
| [ ]  | 環境・エネルギー | [ ]  | 国際的な観光・金融都市の実現 |
| [ ]  | 交通・物流・サプライチェーン |

**どのような社会課題**に対し、**申請ソリューション等が誰に対してどのように当該課題を解決するか、**申請ソリューション等だからこそ当該社会課題を解決できるポイントを教えてください。

（申請ソリューション等を、どのような人がどのような場面でどのように活用することで、どのような課題解決効果が見込まれるかなど、具体的に記載ください。また、課題を解決した実例がある場合は併せて記載ください。）

**＜解決が見込める社会課題＞**

**＜想定されるユーザー・販路＞**

**＜ソリューション等が選択した社会課題をどのように解決するか＞**

＜参考：想定する社会課題＞

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **支援テーマ** | **社会課題解決内容＜事例＞** | **ソリューション等＜事例＞** |
| ① | 防災・減災・災害対策 | ●都民の生命・財産を最大限守り、都市の被害を最小限に抑え、都市の機能を早期に回復できる都市を実現する。●大規模水害や土砂災害から都民の生命や生活を守るため、あらゆる都市インフラの豪雨・高潮対策を強化し、デジタル技術も活用するなど、ハード・ソフト両面からの取組を強化する。 | ・AIと機械学習を用いた災害リスク評価と復旧計画支援システム​ ・センサーとクラウド技術を用いた早期地震警報システム​ ・IoTセンサーを用いた建物の地震被害評価システム |
| ② | インフラメンテナンス | ●都市インフラの老朽化に対する予防保全型の計画的な維持管理及び機能向上 | ・ビッグデータとGISを活用した道路インフラの維持管理および劣化予測サービス​ ・AIとドローンを活用した橋梁およびトンネルの点検・診断ソリューション​ ・IoTデバイスとクラウドを用いた上下水道施設の遠隔監視および管理システム |
| ③ | 安全・安心確保 | ●犯罪、事故、火災への対処、病気への備えなど、暮らしの安全が守られた東京の実現を目指す。デジタル技術等を活用したシステムの導入により犯罪の未然防止や早期解決を図るとともに、暮らしの安全を守る取組のデジタルシフトを推進する。●新型コロナとの共存を実現させるとともに、新たな危機にも対応できる感染症に強い都市を実現する。 | ・4Kカメラ・AIを用いたイベント警備システム​ ・ウェアラブルデバイスとAIを活用した健康管理および緊急通知システム​ ・IoTプラットフォームを用いたスマートシティ​および安全監視システム |
| ④ | スポーツ振興・障がい者スポーツ | ●スポーツ気運の高まりなど、数多くの東京2020大会レガシーを活用し、誰もがスポーツを楽しむことができる環境を構築する。●障害者が操作できるように工夫されたeスポーツ機器等を活用し、その人に合わせた環境でパラスポーツを楽しめる機会を提供する。 | ・5G通信システムを用いた遠隔地域向けのコーチング指導​ ・VR・センサーを用いたバーチャル観戦・指導​ ・レーザーを活用した視覚支援機器による​視覚障碍者向けのスポーツ観戦機会の提供 |
| ⑤ | 子育て・高齢者・障害者等 | ●仕事と子育ての両立やサポートが必要な子供の様々な状況に応じた支援を展開する。 ●テレワークの普及定着による柔軟な働き方や、育業の推進による家庭と仕事の両立支援を強力に後押しし、新たな時代に即した働き方を推進する。●デジタルデバイド対策の更なる強化を図ると共に、高齢者の社会参画に向けた支援や最新技術の活用などにより高齢者のQOLを一層向上させる。 | ・AIを活用した高齢者見守りシステムおよび介護支援プラットフォーム​ ・ウェアラブルデバイスとAIを活用した健康管理および緊急通知システム​ ・子育て支援のためのAIロボットおよび家庭内コミュニケーション支援システム |
| ⑥ | 医療・健康 | ●一人ひとりの希望に応じて地域や社会で活躍できる環境を整え、さらには「共生」と 「予防」の両面から認知症施策を進めることで、世界に誇る「長寿社会」を実現する。●がん対策を予防・医療・共生の観点から包括的に強化する。未知なる感染症の発生に即応性の高い体制を築き上げ、平時・有事のいかなる状況でも、誰もが必要に応じて質の高い医療を受けられ、安心して暮らせる東京をつくり上げていく。 | ・AI・ビッグデータを用いたケアプラン作成支援システム​ ・脳波データを用いた認知症自動判断AI​ ・AIを活用した医療画像解析および診断支援システム |
| ⑦ | 環境・エネルギー | ●高度なエネルギーマネジメントや先端技術の実装など、まち全体の脱炭素化を複合的・重層的に進め「ゼロエミッション東京」に向けて社会を変革する。●脱炭素化とエネルギーの安定供給の両立に向け鍵を握る水素エネルギーがあらゆる分野で利活用され、都内外から水素が供給される基盤づくりを推進する。●電力を 「Ｈ減らす、Ｔ創る、Ｔ蓄める」 ＨＴＴの取組を社会全体で加速する。 | ・AIを用いたスマートグリッド管理・メータリング​ ・エネルギーデータの解析および電力・ガス料金の最適化サービス​ ・廃棄物管理の効率化を図るためのIoTおよびデータ解析プラットフォーム |
| ⑧ | 国際的な観光・金融都市の実現 | ●新型コロナで深刻な影響を受けた観光産業を再び成長軌道にのせるため、時宜を逸せずインバウンド需要を獲得するための施策を強力に推進する。●サステナブルファイナンスや金融のデジタライゼーションの進展など、激動する国際金融を取り巻く状況変化に的確に対応する。 | ・XR技術を用いた屋外周遊型観光ツアー​ ・ブロックチェーンを用いたカーボンクレジット取引​ ・AIを活用した観光地混雑予測及び​旅行プランニングアプリ  |
| ⑨ | 交通・物流・サプライチェーン | ●東京の活動を支える幹線道路や公共交通ネットワーク、空港・港湾・物流機能の更なる強化とともに、歩行者や自転車が安全で快適に利用できる道路空間確保など、 人の視点からの取組を進める。 | ・ブロックチェーンを用いたサプライチェーントレーサビリティ​ ・IoTとビッグデータを活用した車両管理および運行データ解析システム​ ・ドローンを活用した物流ソリューションおよび空中配送サービス |

９．申請製品等の権利関係

（１）自社企画・制作のソリューション等ですか？　　　　 [ ] 　はい　　[ ] 　いいえ

（２）自社名義で提供・販売していますか？ 　　　　 [ ] 　はい　　[ ] 　いいえ

（３）申請ソリューション等に関係する特許、実用新案、意匠、商標がある（申請中も含む）、または他社権利を利用している場合は、以下に詳細を記載してください。

※ⅰ～ⅲは、**最新の状況**に当てはまる欄にご記入ください。

(出願済・公開前の場合はⅰ、公開後・権利化前の場合はⅱ、権利化後はⅲ)

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ① | ⅰ | 出願番号 |  | 出願日（西暦） |  | 年 |  | 月 |  | 日 |
| ⅱ | 特許公開番号 |  | 公開日（西暦） |  | 年 |  | 月 |  | 日 |
| ⅲ | 特許番号・登録番号 |  | 登録日(西暦) |  | 年 |  | 月 |  | 日 |
| 名称 |  |
| 出願人 |  |
| 権利化状況（いずれかを選択ください） | [ ] 権利化 | 権利利用（いずれかを選択ください） | [ ] 自社権利（単独出願） |
| [ ] 請求 | [ ] 共同出願（持分 　 %） |
| [ ] 未請求 | [ ] 他社権利（[ ] 専用実施権／[ ] 通常実施権） |
| 同分野における既存の知財情報 | 類似の他社製品、先行技術調査結果等の情報と、それとの違いや対策方法をわかる範囲でご記入ください |
|  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ② | ⅰ | 出願番号 |  | 出願日（西暦） |  | 年 |  | 月 |  | 日 |
| ⅱ | 特許公開番号 |  | 公開日（西暦） |  | 年 |  | 月 |  | 日 |
| ⅲ | 特許番号・登録番号 |  | 登録日(西暦) |  | 年 |  | 月 |  | 日 |
| 名称 |  |
| 出願人 |  |
| 権利化状況（いずれかを選択ください） | [ ] 権利化 | 権利利用（いずれかを選択ください） | [ ] 自社権利（単独出願） |
| [ ] 請求 | [ ] 共同出願（持分 　 %） |
| [ ] 未請求 | [ ] 他社権利（[ ] 専用実施権／[ ] 通常実施権） |
| 同分野における既存の知財情報 | 類似の他社製品、先行技術調査結果等の情報と、それとの違いや対策方法をわかる範囲でご記入ください |
|  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ③ | ⅰ | 出願番号 |  | 出願日（西暦） |  | 年 |  | 月 |  | 日 |
| ⅱ | 特許公開番号 |  | 公開日（西暦） |  | 年 |  | 月 |  | 日 |
| ⅲ | 特許番号・登録番号 |  | 登録日(西暦) |  | 年 |  | 月 |  | 日 |
| 名称 |  |
| 出願人 |  |
| 権利化状況（いずれかを選択ください） | [ ] 権利化 | 権利利用（いずれかを選択ください） | [ ] 自社権利（単独出願） |
| [ ] 請求 | [ ] 共同出願（持分 　 %） |
| [ ] 未請求 | [ ] 他社権利（[ ] 専用実施権／[ ] 通常実施権） |
| 同分野における既存の知財情報 | 類似の他社製品、先行技術調査結果等の情報と、それとの違いや対策方法をわかる範囲でご記入ください |
|  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ④ | ⅰ | 出願番号 |  | 出願日（西暦） |  | 年 |  | 月 |  | 日 |
| ⅱ | 特許公開番号 |  | 公開日（西暦） |  | 年 |  | 月 |  | 日 |
| ⅲ | 特許番号・登録番号 |  | 登録日(西暦) |  | 年 |  | 月 |  | 日 |
| 名称 |  |
| 出願人 |  |
| 権利化状況（いずれかを選択ください） | [ ] 権利化 | 権利利用（いずれかを選択ください） | [ ] 自社権利（単独出願） |
| [ ] 請求 | [ ] 共同出願（持分 　 %） |
| [ ] 未請求 | [ ] 他社権利（[ ] 専用実施権／[ ] 通常実施権） |
| 同分野における既存の知財情報 | 類似の他社製品、先行技術調査結果等の情報と、それとの違いや対策方法をわかる範囲でご記入ください |
|  |
|  |
| ⑤ | ⅰ | 出願番号 |  | 出願日（西暦） |  | 年 |  | 月 |  | 日 |
| ⅱ | 特許公開番号 |  | 公開日（西暦） |  | 年 |  | 月 |  | 日 |
| ⅲ | 特許番号・登録番号 |  | 登録日(西暦) |  | 年 |  | 月 |  | 日 |
| 名称 |  |
| 出願人 |  |
| 権利化状況（いずれかを選択ください） | [ ] 権利化 | 権利利用（いずれかを選択ください） | [ ] 自社権利（単独出願） |
| [ ] 請求 | [ ] 共同出願（持分 　 %） |
| [ ] 未請求 | [ ] 他社権利（[ ] 専用実施権／[ ] 通常実施権） |
| 同分野における既存の知財情報 | 類似の他社製品、先行技術調査結果等の情報と、それとの違いや対策方法をわかる範囲でご記入ください |
|  |

●上記に記載の権利については、出願明細書、公開公報、実施許諾契約書等をご提出ください。

（募集要項Ｐ１３参照）

●公開特許公報の写し等を提出する場合は図面を含む全てのページをご提出ください。

●記入欄が足りない場合は、適宜コピーして追加してください。